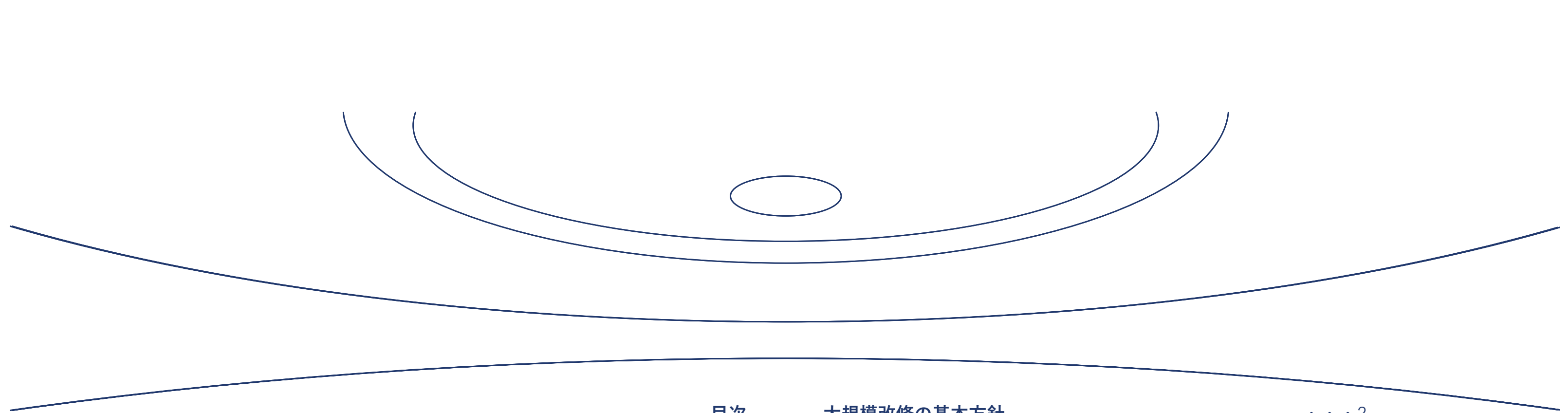


守谷中央図書館大規模改修工事 基本設計概要（案）



令和6年9月
守谷市



目次	大規模改修の基本方針	・・・ 2
	改修の目的	
	改修の方針	
	1. 施設・設備の更新	・・・ 3
	外部の改修	
	内部の改修	
	2. 安全で機能的なサービス環境の整備	・・・ 4
	駐車場の再整備	
	3. 快適で魅力ある空間の整備	・・・ 5
	1F For Kids 子どもたちが本とふれあう空間	
	2F Active Learning 読書と学びと交流を育む空間	
	3F Reading & Learning 多様な学びに対応する空間	
	4. 新しい図書館サービスの環境整備	・・・ 12
	IC タグによる資料管理システムの導入	
	予約資料受取コーナーの新設	
	建築概要	・・・ 12

to Active Library

次の 30 年へのステップアップ



大規模改修の基本方針

改修の目的

第一に、施設・設備の更新（改修）等を実施することによりその機能を回復し、建物の長寿命化を図るものとします。また、建設からおよそ 30 年が経過したことに伴い、時代の潮流や現在の利用に合わなくなったもの、機能や効率の低下が認められるものについて、改善や改修を実施します。さらに、誰もが足を運びたい図書館を目指し、利用者ニーズを反映させた快適な利用空間への転換を図ります。

改修の方針

1 施設・設備の更新

1. 老朽化した施設・設備を改修し、施設機能を回復させ、今後 30 年間を見通した建物の長寿命化を図ります。

2 安全で機能的なサービス環境の整備

1. 安全で快適に利用できるように、駐車場を再整備します。
2. 既存の駐輪場に屋根を設置します。
3. トイレは、内装の刷新、衛生器具の更新、センサー付照明等、全面的に改修します。
4. 多目的トイレの機能の充実を図ります。

3 快適で魅力ある空間の整備

1. 閲覧、学習のための座席を増設します。
2. 休憩コーナーを拡張し、会話を楽しみながら休憩できる空間とします。
3. 館内で会話ができるエリアを設けると同時に、静かな読書・学習環境のスペースを設けます。
4. グループ学習やワークショップ等における主体的な学びのスペースを設けます。

4 新しい図書館サービスの環境整備

1. IC タグによる資料管理システムを導入し、自動貸出機による窓口業務のスマート化や資料管理の効率化を図ります。
2. 予約資料受取コーナーを新設し、セルフ貸出に対応することで、利用者の利便性向上を図ります。

1 施設・設備の更新

外部の改修

- 1) 屋根
 - ①防水 既存防水層の膨れ、劣化が見られるため、既存防水層を撤去し、防水層を新設します。
 - ②断熱 屋根防水層の下断熱材を防水と合わせて更新し、断熱性能の向上を図ります。
 - ③トップライト 排煙設備のトップライトの開閉機構等を交換し、正常に作動するようにします。
- 2) 外壁
 - ①タイル 浮きのある部分を改修し、安全性を確保します。
 - ②コンクリート 爆裂やひび割れ等を補修の上、コンクリート保護塗装を施し、美観を回復します。
- 3) 開口部
 - ①アルミサッシ 劣化した気密材等部分的な交換を行います。
 - ②スチールドア 耐候性塗料を施し美観を維持します。



屋上防水



トップライト



外壁タイル



外壁コンクリート

内部の改修

- 1) 内装材
空調機器・配管の改修に伴い、既存の天井材を撤去し、空間のイメージを刷新します。
清掃しやすく、耐摩耗性に優れた材料の床材に更新します。
- 2) 書架・家具
経年変化の見られる書架・家具の修理と一部更新を行います。
- 3) 照明器具
照明器具は全て LED 照明へ更新します。
トイレ等は人感センサー付器具を導入します。
- 4) 空調設備
状態が良好な既存ダクトを維持し、空調設備機器は省エネルギーな高効率機器へ更新します。
- 5) トイレ
和式トイレは洋式トイレへ変更するなど、明るく衛生的なトイレにリニューアルします。



書架



照明器具



家具

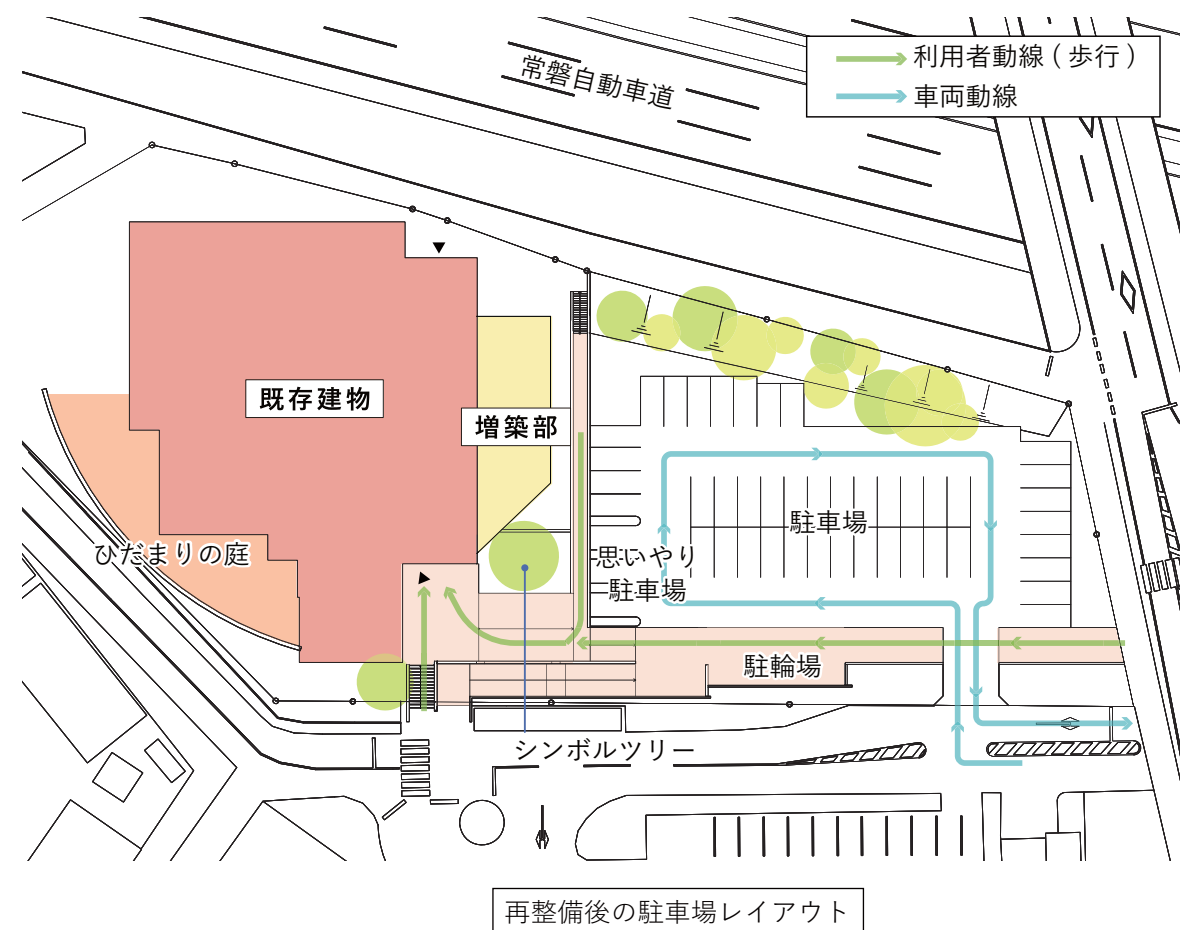
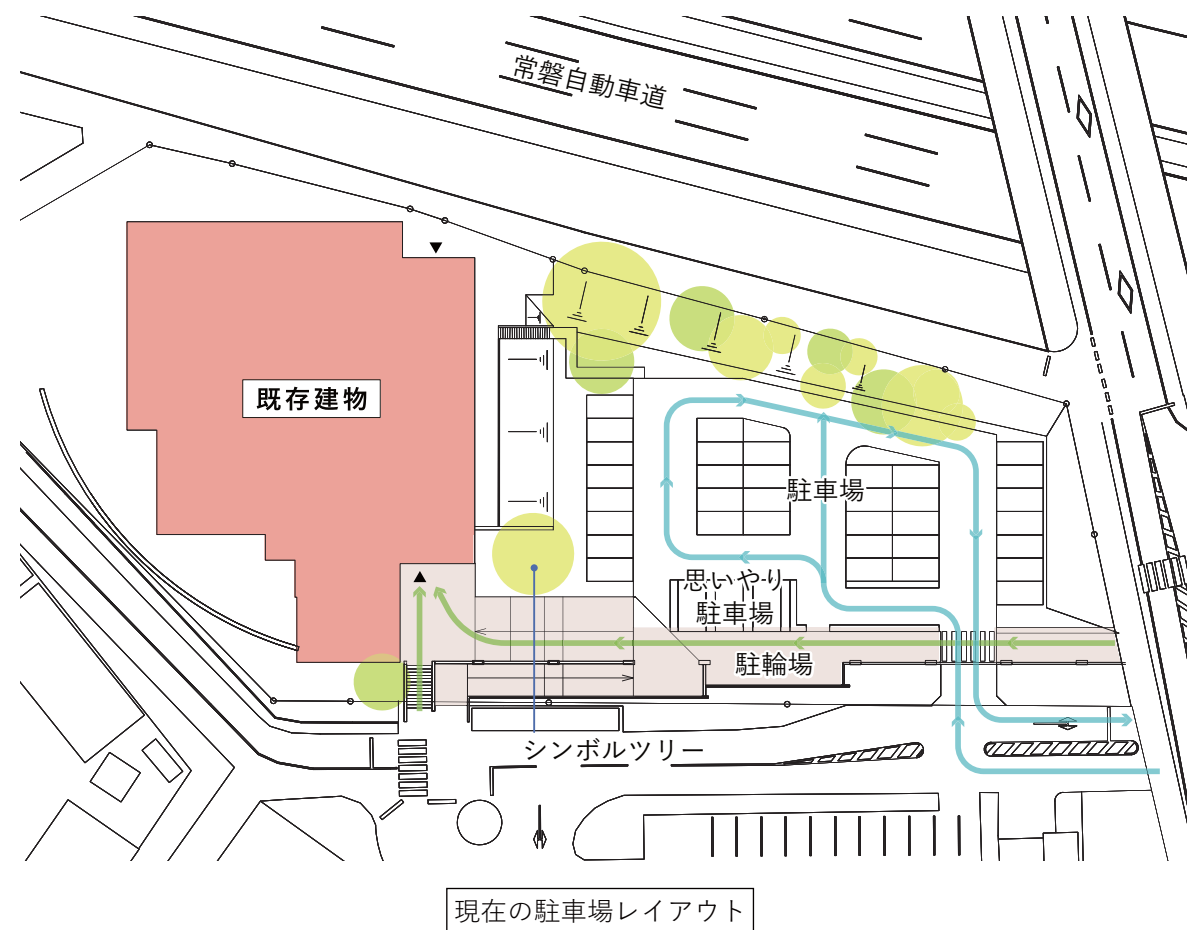


トイレ

2 安全で機能的なサービス環境の整備

駐車場の再整備

- 1) 駐車場内の動線をシンプルに変更して安全性を高めると共に、駐車台数を現在よりも増やします。
- 2) シンボルツリーや高速道路側の既存樹木を可能な限り保全し、良好な環境を維持します。



3 快適で魅力ある空間の整備

- 既存施設を活かしながら、増築を加えて、“人と資料”のみならず“人と人”がつながる賑やかで活気のある図書館に刷新します。

3F Reading & Learning 多様な学びに対応する空間

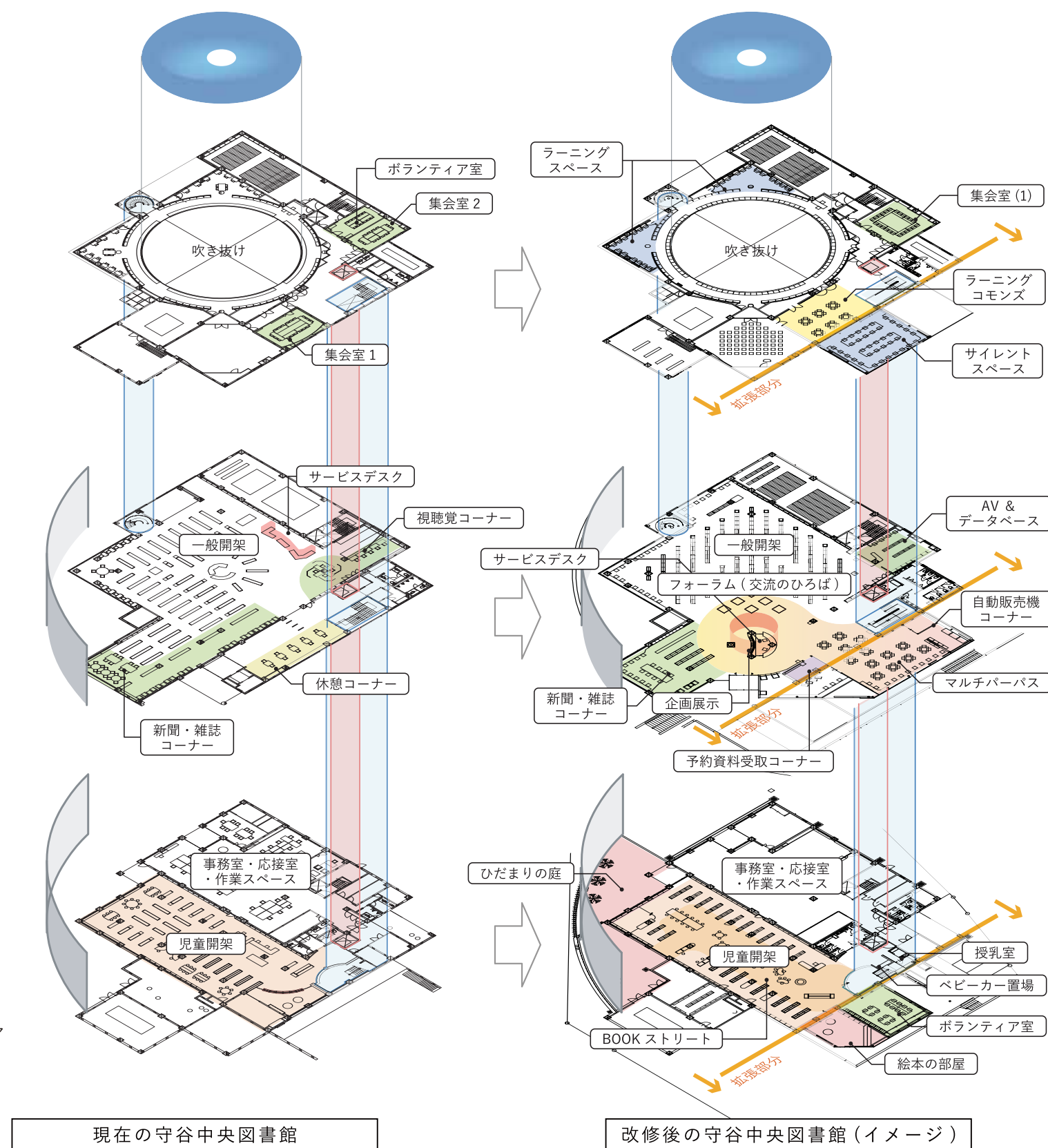
- 自習やグループ学習ができる主体的な学びの場としてラーニングcommonsを設けます。
- 賑やかな図書館の中で、静かで集中できる空間としてサイレントスペースを設けます。
- 新設するラーニングcommons・サイレントスペース、既存のラーニングスペースにより、多様な読書・学習ニーズに応える空間とします。

2F Active Learning 読書と学びと交流を育む空間

- 賑わいの中心となるフォーラム（交流のひろば）を設け、様々な用途に活用できる空間を設けます。
- 会話が可能で、飲食のできる多目的な読書・学習空間として、マルチパーパスを設けます。
- リーディングエリア・新聞・雑誌コーナー・AV&データベース等の目的を持つコーナーを設けます。

1F For Kids 子どもたちが本とふれあう空間

- 児童開架の中央に、親子での読み聞かせ・ひとりで読書・友だちとの学習等、子どもたちの成長に応えるBOOKストリートを設けます。
- 現在のおはなしの部屋を絵本の部屋として拡張し、小さな子どもたちが本に親しみながら楽しく過ごせる場とします。お話し会等の催しも開催できるものとします。
- ボランティア室を児童開架近くに設けます。ボランティア活動の更なる活性化、ボランティアと子ども・保護者とのコミュニケーションの機会を創出します。



1F For Kids 子どもたちが本とふれあう空間

改修方針

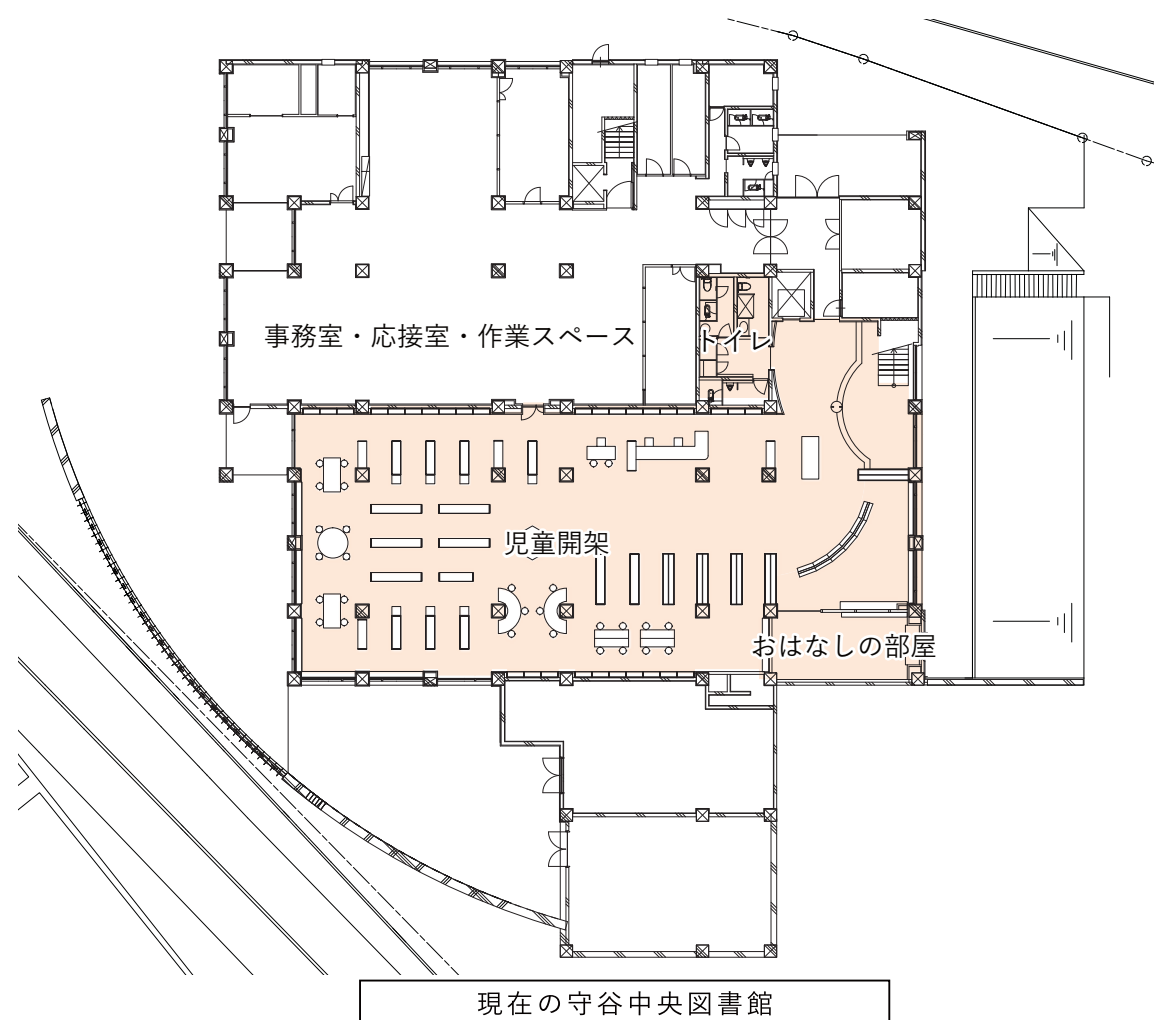
- 1) 児童開架のスペースを拡大し、様々な成長過程の子どもたちに合う閲覧スペースを設けます。
- 2) 絵本の部屋（現在のおはなしの部屋）を拡張し、活用しやすくします。

新しくできるスペース

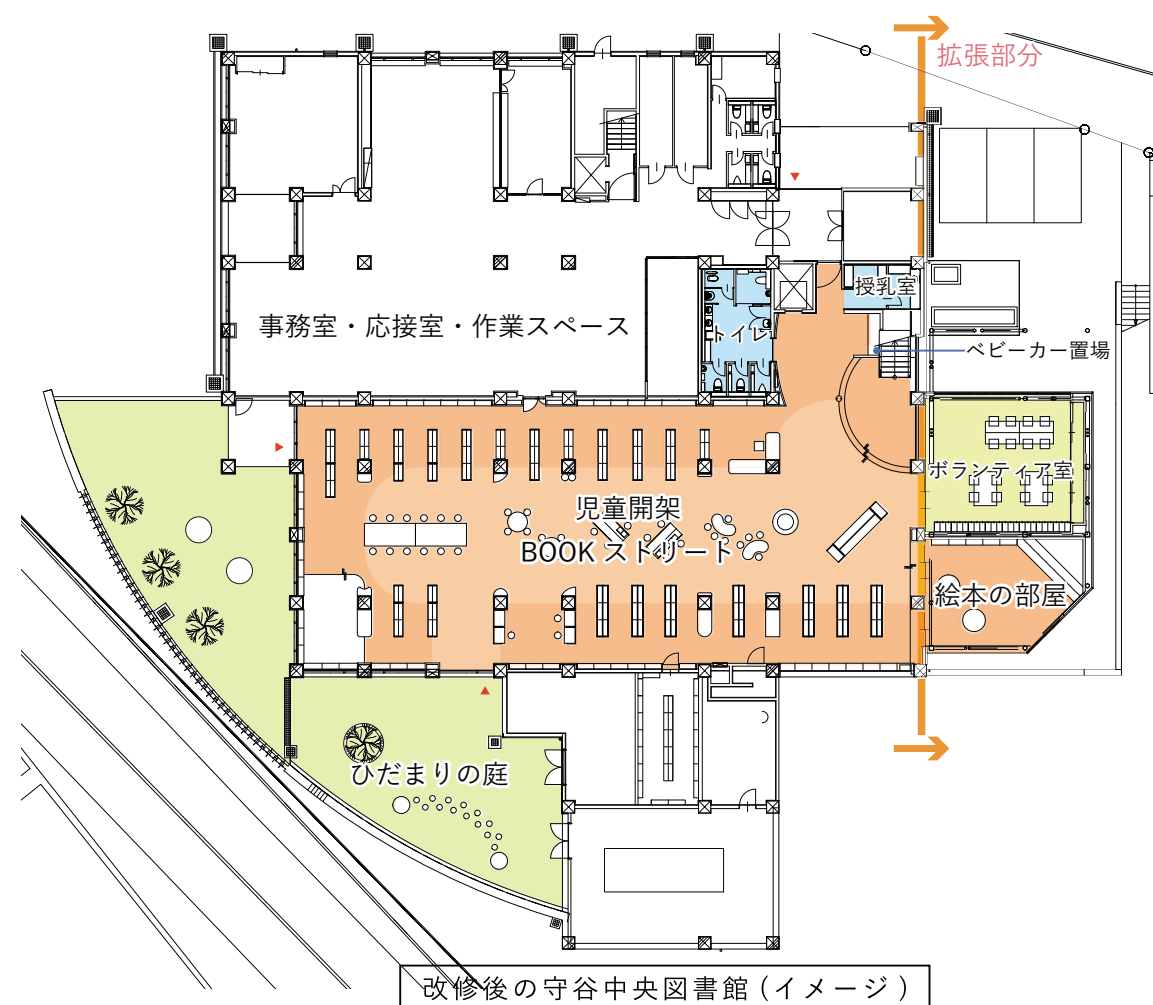
- ①ボランティア室
 - ・事務室や児童開架に近い1階に移設します。
 - ・大きな机や収納を設けて、より活発な活動を可能にします。
 - ・活動が利用者からも見えるように、ガラス張りにします。
- ②絵本の部屋
 - ・子どもたちが素足で安全に過ごせるよう和紙畳を採用します。
 - ・部屋を暗闇にして行なうお話し会や、おひざでだっこおはなし会等も行なうことができるようにします。

リニューアルするスペース

- ①児童開架
 - ・子どもたちが自分の好きな場所を選んで本を楽しめるように、いす・ベンチ・ソファ・小上がりなど色々な座席を設けます。
- ②ひだまりの庭
 - ・屋外でも本を楽しめるようにベンチなどを設けます。
 - ・子どもたちが転んでもケガをしにくいようにゴムチップ舗装を採用します。
- ③授乳室
 - ・エレベーターの近くに授乳室を新たに設け、清潔感のある居心地の良い設備を整えます。
- ④トイレ
 - ・安全性を高め、プライバシーに配慮した子どもトイレを設けます。
 - ・だれでもトイレを設置し、誰もが安心して読書を楽しめる場所にします。



現在の守谷中央図書館



改修後の守谷中央図書館（イメージ）



BOOKストリートに子どもたちが集う児童開架のイメージ



和紙畳敷の絵本の部屋のイメージ

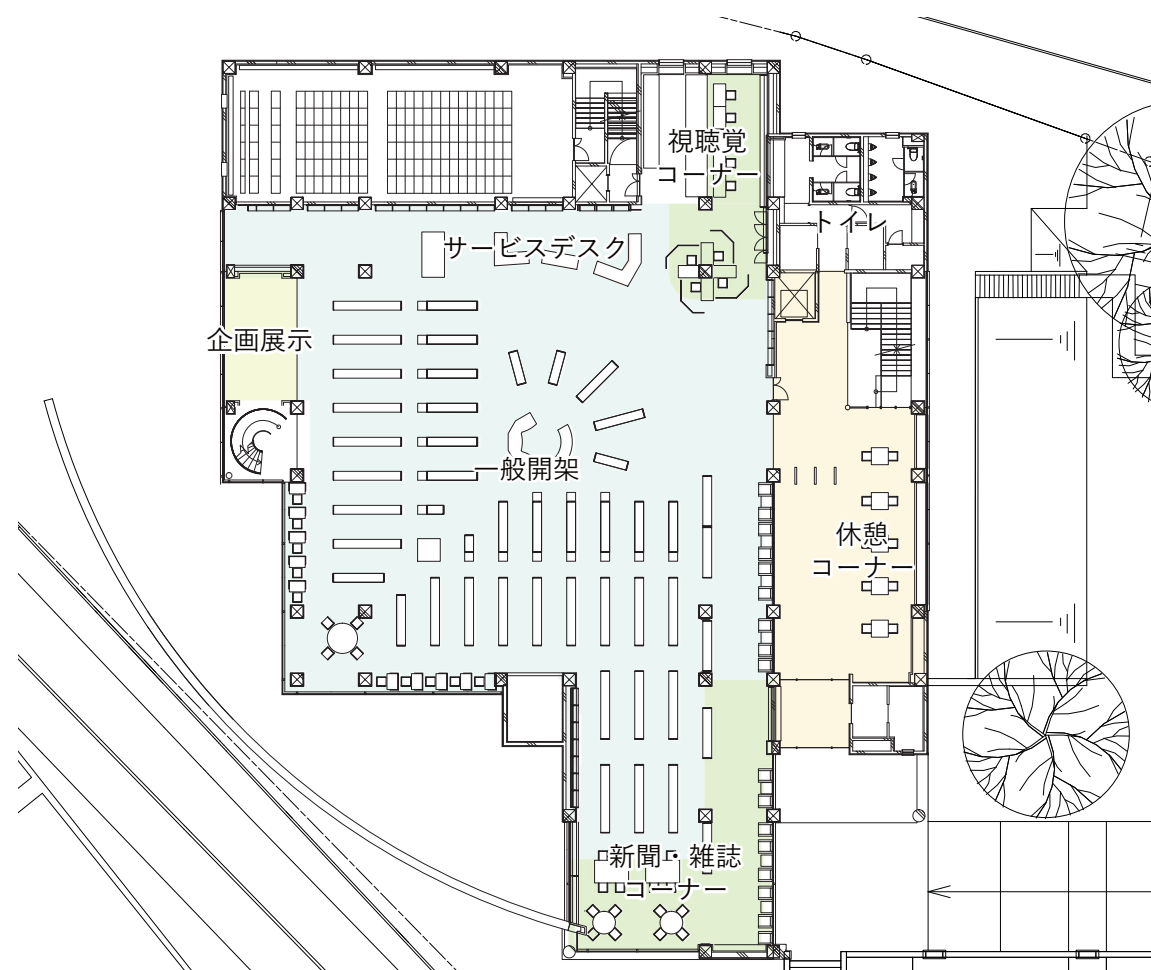


既存の庭を利用して整備するひだまりの庭のイメージ

2F Active Learning 読書と学びと交流を育む空間

改修方針

- 1) エリア中央にフォーラム（交流のひろば）を設けます。
可動式のベンチを設置し、普段は本や資料の閲覧場所として利用できる他、イベント時には様々な展示方法ができる空間として計画します。
- 2) 会話をしながら飲食のできる多目的な読書・学習空間として、マルチパーパスを設けます。図書館利用者がリフレッシュできる空間とします。
- 3) 見通しが良く分かりやすい書架配置にします。



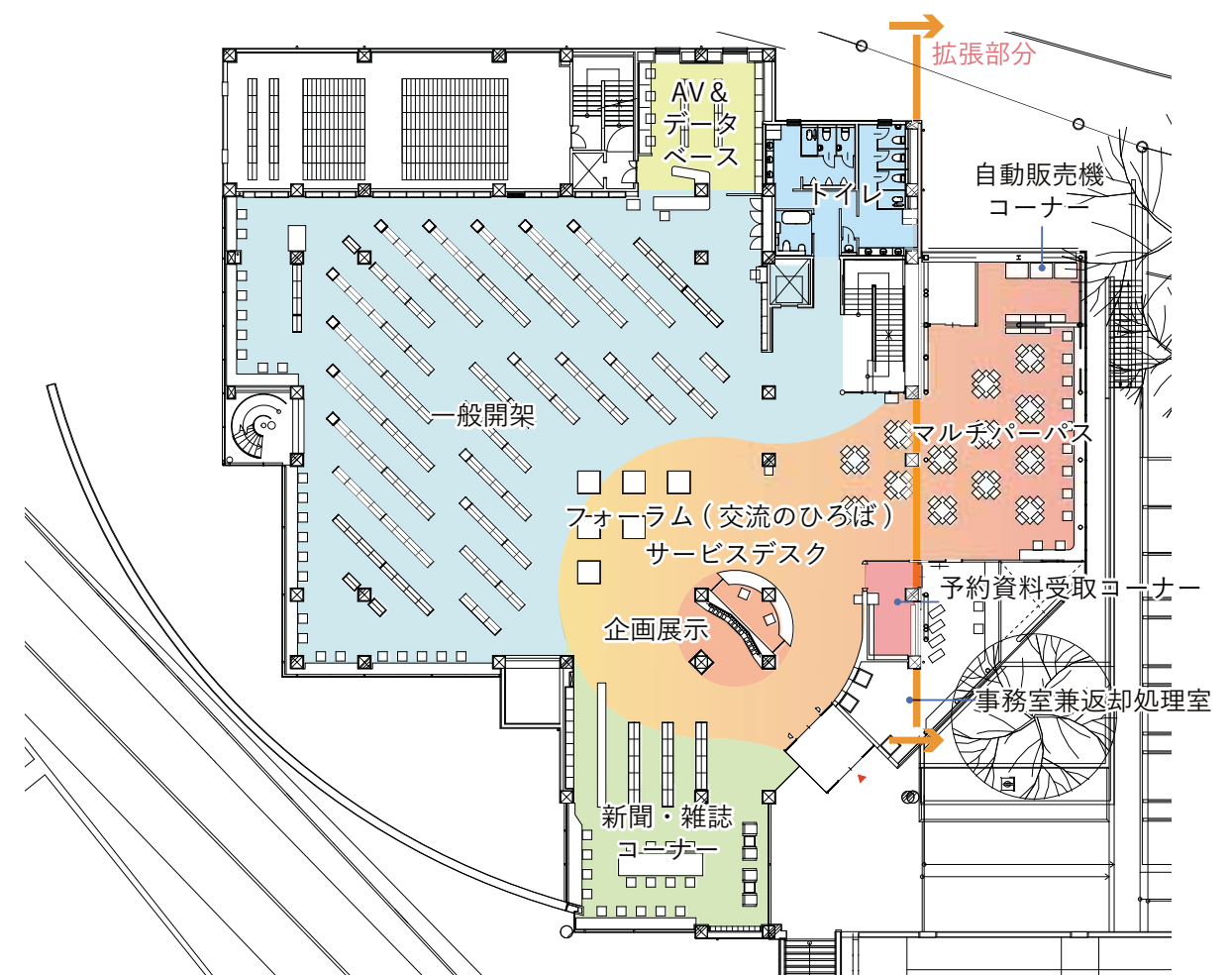
現在の守谷中央図書館

新しくできるスペース

- ①マルチパーパスの新設
・拡張部分に、飲食しながら休憩や交流ができる多目的な交流ラウンジを設けます。
- ②予約資料受取コーナーの新設
・ICタグ導入による自動貸出に対応した予約資料受取コーナーを設け、利用者の利便性を向上させます。

リニューアルするスペース

- ①エントランス・事務室兼返却処理室
・返却ポストの裏に事務室兼返却処理室を設け、より効率的に返却処理作業を行えるようにします。
- ②サービスデスク
・利用者を出迎え多様な情報を提供するサービスデスクを建物の入口付近に設けます。
- ③企画展示
・建物の入口に近く、利用者の目に付きやすい位置に企画展示棚を設けます。
- ④一般開架
・書架配置を変更することで書架を追加し、利用者が自ら手に取って選べる開架冊数を増やします。
・カウンター席を設け、閲覧席を増やします。
- ⑤新聞・雑誌コーナー
・雑誌の表紙が見える雑誌架を採用し、目に留まりやすく手に取りやすいようにします。
- ⑥AV&データベース
・CDやDVD等の開架数を増やし、気軽に手に取り選び楽しめる設えとします。



改修後の守谷中央図書館（イメージ）



既存の吹抜けを活かしたフォーラム（交流のひろば）のイメージ



人との交流が生まれるマルチパーパスのイメージ



落ち着いた空間の新聞・雑誌コーナーのイメージ

3F Reading & Learning 多様な学びに対応する空間

改修方針

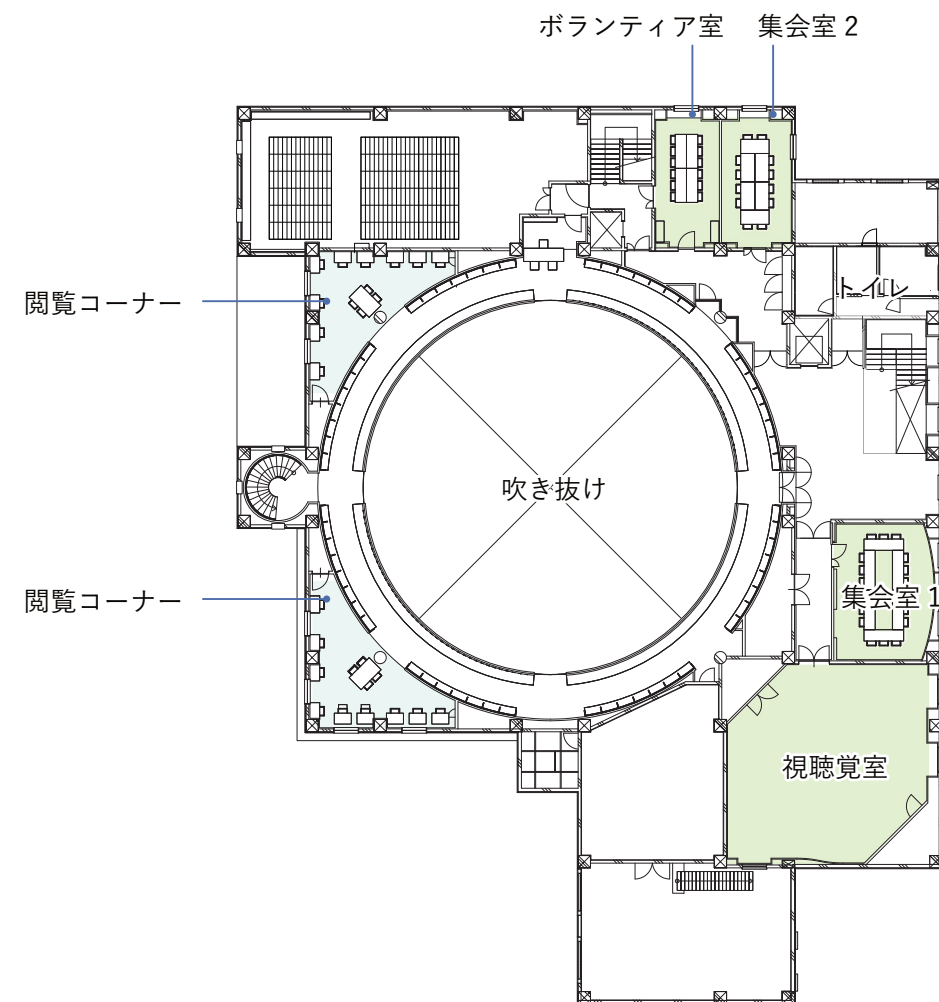
- 1) ラーニングコモンズを設け、グループ学習や気軽に参加できるワークショップ等を実施できるようにします。
- 2) 拡張部分には、集中して読書や学習ができるサイレントスペースを設けます。
- 3) 現在のボランティア室と集会室2の間の壁をなくし、一室の集会室(1)に改修します。

新しくできるスペース

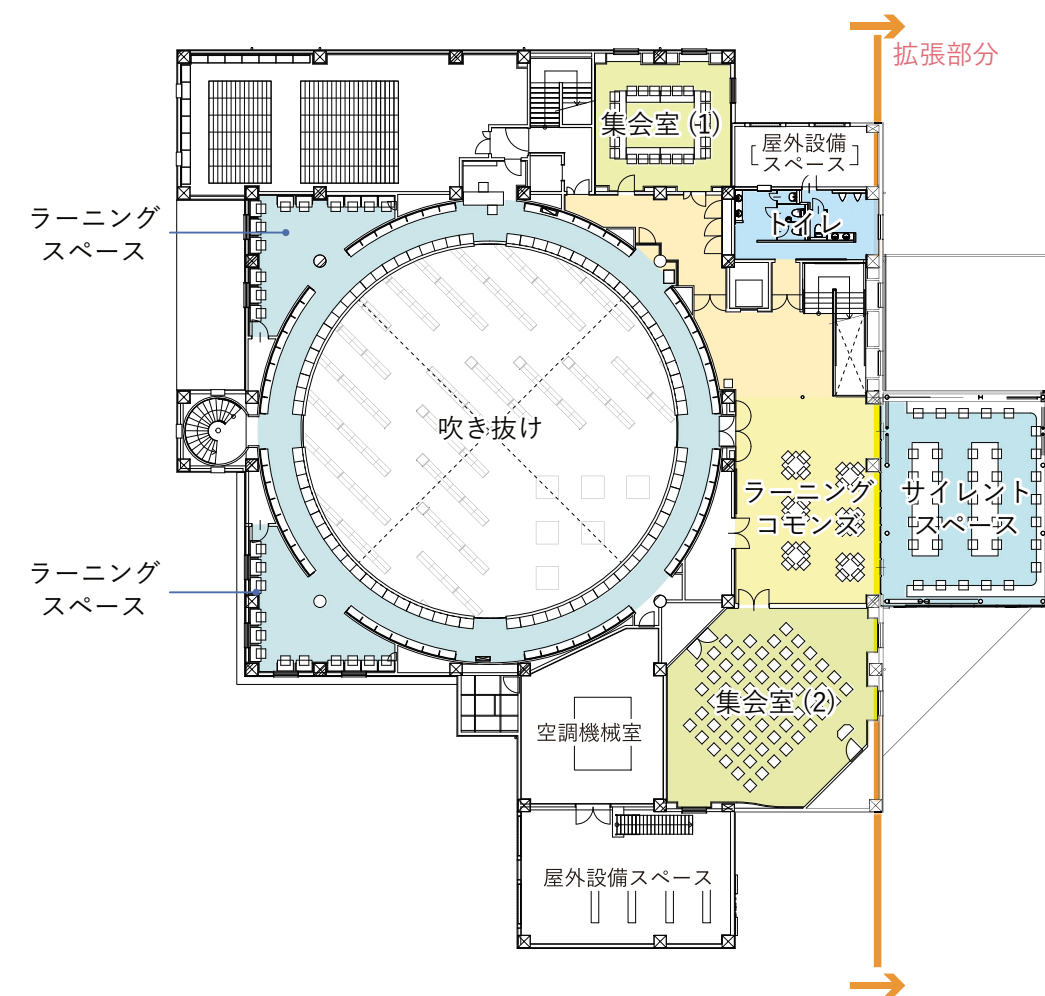
- ① ラーニングコモンズの新設
・自習やグループ学習に使用でき、時には開かれた講座やワークショップなども開催できるようにホワイトボードやプロジェクター等を設置します。
- ② サイレントスペースの新設
・ガラスの壁で仕切ることで、読書や学習に集中できる静かな環境をつくります。

リニューアルするスペース

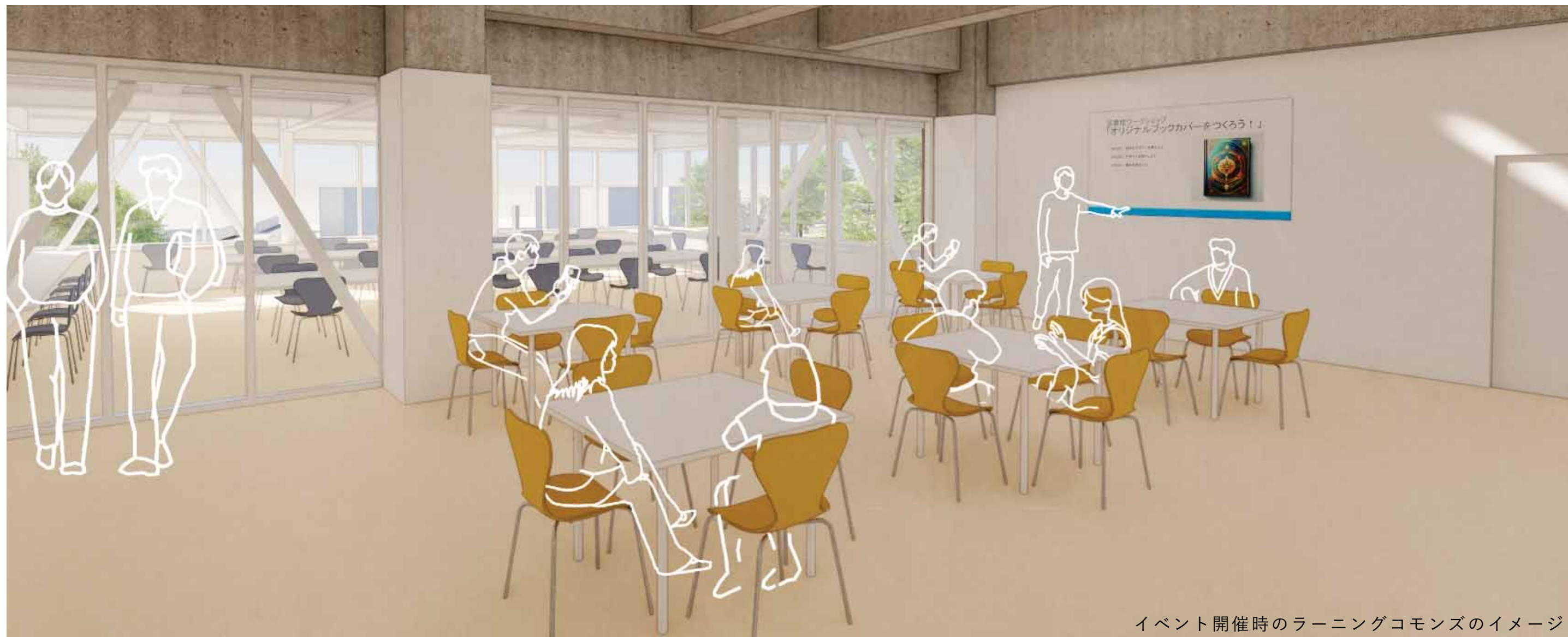
- ① 一般開架
・自動貸出機や検索機等を3Fにも設置し、より使いやすい環境を整備します。
- ② ラーニングスペース
・現在の落ち着いた環境を保持し、キャレルデスク(個人席)数を増やします。
- ③ 集会室(1)
・現ボランティア室と集会室2を統合し、54㎡の集会室(1)として設えます。
- ④ 集会室(2)
・現在の視聴覚室の音響設備や照明を更新して、明るく使いやすい環境を整えます。



現在の守谷中央図書館



改修後の守谷中央図書館(イメージ)



イベント開催時のラーニング commons のイメージ



静かなサイレントスペースのイメージ



3階から見た一般開架のイメージ

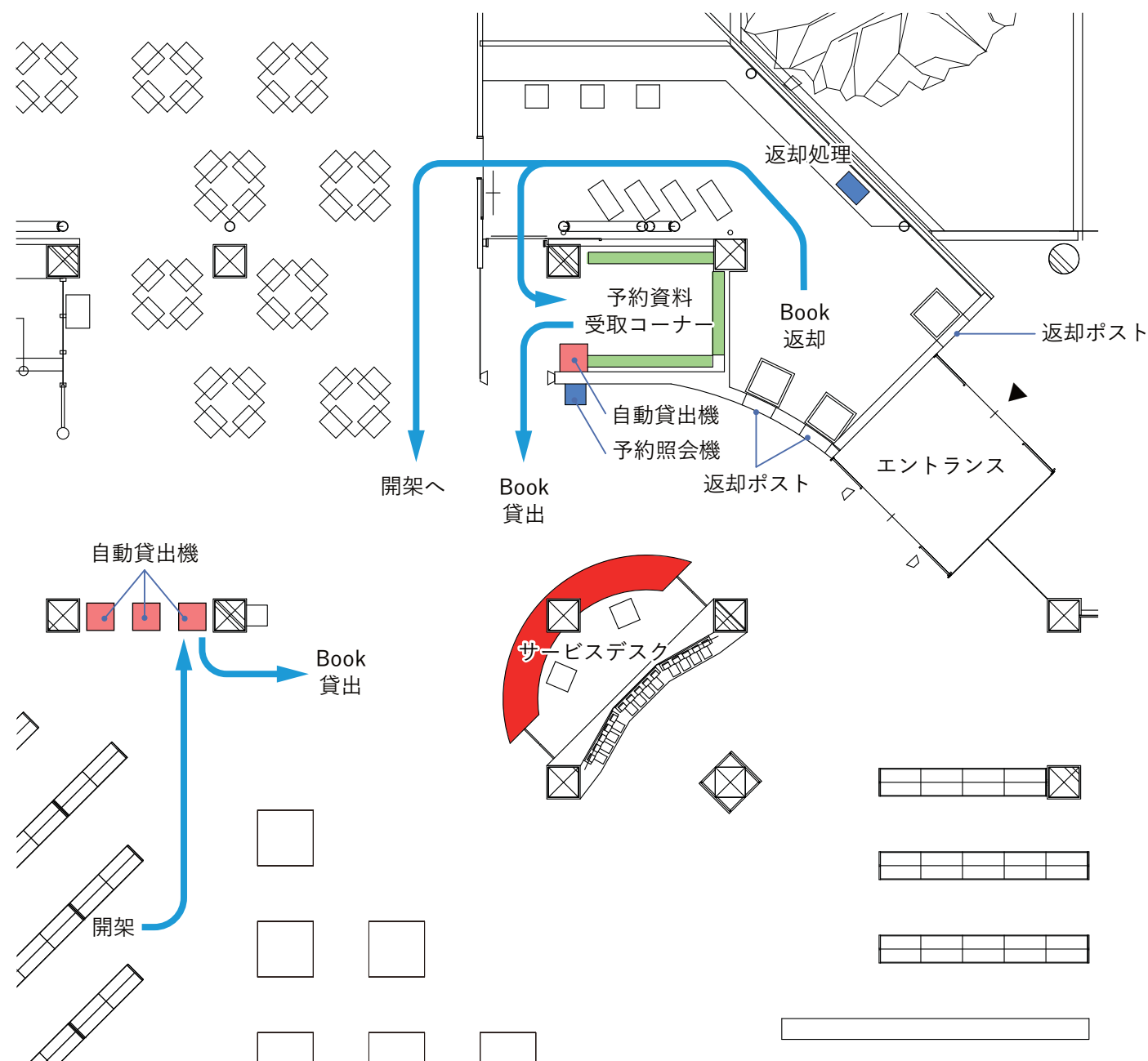
4 新しい図書館サービスの環境整備

IC タグによる資料管理システムの導入

- 1) IC タグによる資料管理システムを導入し、自動貸出機による窓口業務のスマート化や資料管理の効率化を図ります。

予約資料受取コーナーの新設

- 1) 予約資料受取コーナーを新設し、セルフ貸出に対応することで、利用者の利便性向上を図ります。



建築概要

1) 敷地概要

所在地	茨城県守谷市大柏 937-2
都市計画区域	都市計画区域内（市街化調整区域）
用途地域	指定なし
敷地面積	5,237 m ²

2) 既存建物概要

構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上 3 階
建築面積	1,380.15 m ²
延床面積	3,522.734 m ² （1 階 1,254.742 m ² 2 階 1,348.523 m ² 3 階 919.469 m ² ）
竣工	平成 6 年

3) 増築概要

構造	鉄骨造
階数	地上 3 階
建築面積	195 m ²
延床面積	417 m ² （1 階 121 m ² 2 階 195 m ² 3 階 101 m ² ）

4) 概算工事費

概算工事費	16 億円～18 億円
-------	-------------

※現段階の概算工事費は、基本設計段階のものであり、今後の物価・人件費の高騰や詳細設計の検討によって変更となる可能性があります。

